

# くわた 恭子

きょうこ



発行 H18年7月20日  
 発行者 広島市議会議員  
 くわた 恭子  
 事務所 〒731-5153  
 佐伯区河内南2-30-2  
 TEL929-2930 FAX929-2928  
 OPEN 9:00~12:00  
 15:00~18:00

http://www2.ocn.ne.jp/~kyoko/

## 通信

梅雨に入りうららかな天気が続きますが、庭の紫陽花は雨にぬれて美しく咲いています。皆様お元気ですか。いつも「くわた恭子通信」を読んでいただきありがとうございます。

先月6月定例議会(6/19~6/29)が終了いたしました。修正として、否決とあるような議案はありませんでした。4月より施行しております障害者自立支援法、今回は10月より施行される障害児についての助成制度の提案も可決されました。障害児についても自立支援法の適用される場合はかなりの疑問に思うところもあります。7月からは所属する委員会が変わり厚生委員会になりました。年金や保健、福祉、子育て支援についてしっかりと強めてまいります。



## 議員定数削減「大幅な削減」とは何人なのか

議員の定数は議員にしか決められません。だから減らせないのです。

議員になる前、漠然と60人の議員数を多いと思ひ、議員の年齢が高いと感じ女性議員がなんと少ない...とっていました。議員定数を削減していくのに、今まで2回のポイントがあったと思っています。

広島市の議員数は昭和55年から26年間、ほとんど変わらない

### 平成16年3月定数削減の決議

今日の定数削減のポイントは、平成16年3月に「61削減」の議員提案を否決して行った決議です。「平成17年の国勢調査をみて大幅な議員定数の削減と行う」と決議と私の会派では70削減から提案するまでの議会内の駆け引きと妥協。この時、議会で過半数を取り、議案を通すの重さを知りました。定数削減は新人議員の私にはできないという思い込みが強く、私の議員としてのテーマになりました。

湯来町との合併調印式は2回行われました。理由は決議をしていたから

7回目は平成17年1月24日。その後、2月の合併臨時議会で現在の60人+湯来町1人の61人の定数で、平成23年5月まで変更できないことになったので、午前中、2回目の調印式を行い、61人の期間を19年5月までに議案を修正し合併と合意しました。ドクドク馬鹿は、湯来町議会に迷惑をかけることになりました。結果として、定数削減と再確認することになりました。湯来町は15人の議員が1人になりました。広島県の地方議員はほぼ、半分に減少(1363人から700人に...)

	法定数	条例定数
昭和55年	60人	
昭和60年	60人	64人
昭和61年	64人	
平成6年	64人	61人
平成10年	68人	60人
平成15年	64人	60人

ある議員に言わせたら、市議会は法定定数から4人も削減しているといひます。

18年の検討は

### 平成18年から、議員定数等検討会議で議員の定数について会議を重ねる

議長の間問機関として、議員定数等検討委員会をつくり、10人の委員で話し合ってきました。しかし、話し合いは非公開、会議の内容は漏らしてはならないという申し合わせまでありました。4回の会議がありましたが、4回を合計しても会議時間は2時間にならないでしょう。広島市に何人の議員が必要なのかという議論ではなく、各会派、何人までの定数削減なら賛成できるのか最初から、数合わせの話で、会議は単なる会派の「意見交換会」に終わってしまった感があります。

#### 検討会議で出された意見

- ・5人削減が4会派
- ・3~4人の削減が1会派
- ・6~10人の削減1会派
- ・各区1人削減が1会派
- ・法定定数の64人に近づけるなどの意見がたされ、意見を絞ることはできなかった。

#### 幹事長会議で議案を作り9月議会に提案、大幅な削減を実現したい

9月には  
 大幅な議員定数の削減とは何人の削減というのか? 民意を聞くためには、議員を減らすはいいけどというが、何人いれれば民意を聞くのに十分なのか? 市民は情報時代の今、直接市長にメール発信して、議員に求められているのは、代表として民意を反映させた判断と、市民のための議案、各別作りと思ひている。

議員の質と高め緊張感のある議会となるために定数削減が1番と思う。

#### せめて最低8人の削減を...

そうすれば、各区2万人以上の人口で1人の議員となり同規模の政令市並になります。佐伯区に7117人は10人減らしても、前回の60の時

### 即、廃止しなければならない「議員の費用弁償」

議員の収入は、報酬、政務調査費と議会に出席する毎に、交通費・日当として支給される¥11000/回の費用弁償があります。地方紙などマスコミで取り上げられていたのは政務調査費34万円についての使途、額についてでした。しかし、そもそも必要かどうかから議論しなければならないのが、この費用弁償と思っています。広島市議会において、費用弁償についての議論はありません。給与の2重取りなので廃止すべきだと思います。実は、以前から気になっていたのですが、受け取らない方法はないか、調べてみると、法務局へ供託する方法がありました。が、これについても公職選挙法に違反する可能性があるとの議会事務局の説明でした。他都市には、法務局に供託している議員もいますし、廃止している都市(大阪市・堺市)もあります。違反にならないよう、議会として条例改正をすべきだと思います。税金の無駄遣い...ちなみに広島市の支給額は政令市で1番高額です  
 \*費用弁償...地方議員が名誉職で、無給とされていた明治時代に「実費負担の弁償」として始まったもの

です。時代は大きく変化していますが、適正な議員数について誰も話さずして結論を出せません。現実、佐伯区は2239人で1人の割合で活動しています。

同規模政令市の議員1人当り人口
福岡市 21293人
京都市 21272人
神戸市 20742人
川崎市 19840人

皆様の意見をお聞かせ下さい

# 4年間で4,375万円

何の数字かわかりますか？・・・

市長の1期4年間の退職金です。

…広島市財政は莫大な借金なのに  
 \* 市長=4,375万円の内訳  
 給料月額131万円×4年間 +  
 給料月額131万円×49ヶ月×0.6

同様に助役収入役の4年間の退職金

\* 助役=2,436万円の内訳  
 給料月額105万円×4年間 +  
 給料月額131万円×48ヶ月×0.4  
 \* 収入役=1,656万円の内訳  
 給料月額90万円×4年間 +  
 給料月額90万円×48ヶ月×0.3

総務省によると小泉首相の退職金  
 9月に退職した場合約660万円  
 それも5年と半年=66カ月です…  
 私達議員は何期議員をしても0円  
 なんだか、浮世離れの退職金です

結局見直さない

湯来の山はちとこっ！



東小中学校に同行し、湯来の山はちとこっ！  
 にもものほしす。湯来の山はちとこっ！

# 特別職の職責は重いので 退職金は妥当である

この6月議会で、この市長・助役・収入役退職金について、見直す考えは無いのか市長について言えば、4年間48ヶ月が49ヶ月で計算されているではないか、この点についても見直しをしないのか？という質問ができました。

私が議会に入って間もなく、同じ趣旨の質問がありました。そのときの市長答弁は、退職金が高いと思われたいような仕事をしていきたいと、質問をかわされました。今回の答弁は「常勤の特別職の職責が一般職に比べ格段に重い事や、職務の遂行にあたり24時間の対応が求められる」見直しは当面しないという考え方でした。49ヶ月については広島県が見直すとしているので、市も準じていきたい…他が見直せば見直すんだ…

市長の口から出た  
 びかイチの元気な助役  
 女性職員など人材がいまだ育っていない

湯来地元説明 H18年6月23日

## 一般国道433号整備ルート 通称七曲がりを整備します。

この整備計画は、旧佐伯区と湯来町の境から湯来町川角までの八幡川に沿って、くねくね曲がった通称七曲を4本の橋と2本のトンネルで約900Mの直線につなぐものです。

## 24時間働く助役の人事について質問

議会最終日、7月に任期が切れる助役人事の議案が出されました。内容は、引き続きの続投。とうとう女性助役の議案は、この4年間一度も出されませんでした。

続投される助役の年齢は66歳、任期終了時には70歳になります。参考までに戦後39人の助役が就任されていますが、就任時の平均年齢は53・8歳でした。24時間の激務と答弁されたので、あえて、大丈夫かと心配しました。女性助役については、市長の一期目に3回提案して全て否決されていました。しかし、2期目の公約にも、女性助役の登用は明記されています。人事の公約がなぜ果たせなかったのか、誰も聞かないので質問しました。

年齢と激務=「今までの助役のなかで、ピカイチの元気な助役…」  
 女性助役=「女性職員など人材がいまだ育っていない…」育てているのか？

### 質問

Q 工事中の逃げ道は  
 どのようにするか

A 1日6,000台の交通量、  
 現道を通しながら工事を  
 を進める

Q 冬の凍結が心配  
 特に冬の橋が心配

A 滑り止めの対策は考える  
 ゴムチップを入れた  
 道路など考える

Q この道は湯来の玄関  
 なので歩道はつかないか

A 20億円の予算が歩道をつ  
 けると35億円になる…

Q 工期が少しでも  
 短くならないか

A 最短でも5年かかる  
 用地取得・詳しい設計が  
 できれば、再度地元説明を行う

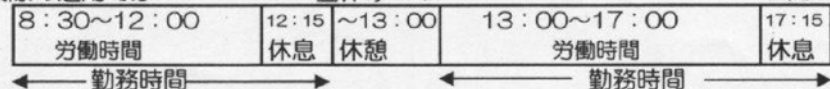
設計担当の丁寧な説明の後、地元の皆さんから  
 次々質問が飛び出しました。説明会で出た質問  
 の一部をここに掲載いたしました。何れも心配さ  
 れていたのは、冬の路面の凍結です。五市ではあ  
 りえないほど凍るそうです。計画が予定通り進  
 んで、安全で美しい道になることを期待したい。

前回の予算特別委員会の発言「退職金15%」と聞いてびっくり。現在はゼロに近い数字(勤労記録簿あり)ということ？…でも新たに休憩時間の不思議にたどり着きました。

## なんと！公務員には昼休みにも給与が支払われている

広島市の場合、1日の勤務時間が6時間を超える場合45分間、8時間を超える場合は60分の休憩時間(無給)を勤務の途中に設けなければならないとし、4時間の連続する正規の勤務時間ごとに15分の休憩時間(有給)をおこななければならないとしています。

実際の運用では



休憩時間の本来の目的のリフレッシュ・仕事の効率アップなら、勤務時間途中に設定すべきでは？

この運用では、実際の労働時間は7時間半ということでは？

条例では休憩時間は勤務時間にカウントされないが、民間ではこの勤務時間ありせん。

## 国は制度を7月に廃止

総務省は有給の30分の休憩時間を廃止し、無給の休憩時間60分に一本化するようH18・3/8に広島市に通知してきました。人事に今後の対応をどうするのか問い合わせたら、地場の企業を調査し、対応を検討する。6月議会への条例改正はしないとのことでした。

労務省が有給の30分の休憩時間を廃止し、無給の休憩時間60分に一本化するようH18・3/8に広島市に通知してきました。人事に今後の対応をどうするのか問い合わせたら、地場の企業を調査し、対応を検討する。6月議会への条例改正はしないとのことでした。